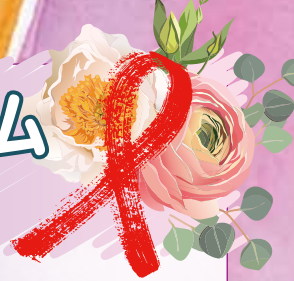


第3回 HIV感染症看護師相互交流シンポジウム

— 首都圏編 —



首都圏で円滑な患者支援ができるように HIV 感染症看護師のネットワーク作りとして過去2回にわたりシンポジウムを開催してきました。今年、エイズ治療拠点病院HIV看護師と訪問看護師との相互交流の実践を紹介し、患者さんの医療と暮らしを支える継続看護について考える機会にしたいと思います。

日時：2021年12月1日(水) 18:00～19:10

方法：ZOOMによるオンライン 事前申込制(先着100名)

申込方法：HP サイトから <http://www.acc.ncgm.go.jp>

QRコードから

*個人情報 は 運営管理の目的以外に使用しません

対象：HIV 診療に携わる看護職

申込締切
11月25日
QRコードで



プログラム

テーマ「HIV 看護師と訪問看護師の相互交流による継続看護」

司会進行：鵜藤有紀子 (横浜市立大学附属病院)

杉野 祐子 (国立国際医療研究センター病院エイズ治療・研究開発センター)

1 開会挨拶

横幕 能行 (NHO 名古屋医療センターエイズ総合診療部長、エイズ治療開発センター長)
「HIV 感染症の医療体制の整備に関する研究」班 研究代表者

2 報告

首都圏エイズ治療中核拠点病院の HIV 感染症看護とネットワークの現状
杉野 祐子 (国立国際医療研究センター病院エイズ治療・研究開発センター 副支援調整職)

3 シンポジウム

講演 1. HIV 感染症専門病院の外来看護師と訪問看護師との連携の実際
関矢 早苗 (がん・感染症センター都立駒込病院感染症科外来 HIV 専従看護師)

講演 2. 訪問看護師が HIV 担当看護師に期待すること
高橋 操 (訪問看護ステーションみけ 訪問看護認定看護師)

講演 3. 新宿区内訪問看護ステーション連絡会における
HIV 訪問看護支援の取り組み

服部 絵美 (白十字訪問看護ステーション 所長/新宿区内訪問看護ステーション連絡会 代表)

4 総合討論

5 閉会挨拶

池田 和子 (国立国際医療研究センター病院エイズ治療・研究開発センター看護支援調整職)

問い合わせ先

国立国際医療研究センター病院エイズ治療・研究開発センターケア支援室
杉野・池田 TEL 03-5273-5430 (平日 9:00-17:00)

主催：厚生労働行政推進調査事業費補助金 (エイズ対策政策研究事業)

「HIV 感染症の医療体制の整備に関する研究」班 研究代表者 横幕能行

分担研究「ブロック内中核拠点病院間における相互交流による HIV 診療環境の相互評価と

MSW と協働による要介護・要支援者に対する療養支援のネットワーク構築」

分担研究者 池田和子

共催：東京都訪問看護ステーション協会

